

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2026 年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則、本大会要項及び競技事項を適用する。
また、本大会申し合わせ事項に沿って行う。

2 競技場使用について

- (1) ウォームアップ場は、補助競技場を原則とする。雨の場合、雨天走路に関しては第 3 ゲート（200m スタート付近）から（1500m スタート付近）方向へ走行すること。
- (2) 砲丸投の練習については、補助競技場内砲丸投ピットのみとする。安全に留意すること。
- (3) 棒高跳の練習については、本競技場及び補助競技場の棒高跳ピットとする。
- (4) 練習は、係員の指示によって行う。
- (5) 練習及び競技で使用したマーカー（テープ類）は、必ず使用後に各自で処理すること。
- (6) 全天候走路であるため、スパイクのピンの長さは 9mm 以下とする。ただし、走高跳は 12mm 以下とする。また、スパイクの本数は 11 本以内とする。
- (7) 100m 及びハードル種目に出場する選手は、ゴール後ホームスタンド下通路をスパイクを脱いで通り、スタート地点に戻る。その他の種目に出場する選手は役員の指示に従い選手・役員移動通路を通りスタート地点に戻る。

3 選手招集について

- (1) 招集所は、第 3 ゲート（第 3 コーナー付近）に設ける。
- (2) 招集開始・完了時刻は次のとおりとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技（四種競技を含む）	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前
フィールド競技（四種競技を含む）	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前
フィールド競技（棒高跳）	競技開始 110 分前	競技開始 100 分前

(3) 招集の手順

- ① 競技者は、招集開始時刻までには招集所に集合し、点呼を受ける。その際、競技役員にナンバーカードとスパイク、衣類および競技場内へ持ち込む物品等の確認を受けた後、競技役員の指示に従って入場する。スマートフォンや通信機器及び音楽再生機等は持ち込めない。
- ② 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技に出場できない。
- (4) 2 種目を同時に出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が該当の招集完了時刻 20 分前までに所定の用紙に記入し提出する。用紙は招集所に用意する。2 種目同時に出場する場合は、トラック競技を優先する。
- (5) リレー競技に出場するチームは、招集完了時刻の 1 時間前までにリレーオーダー用紙を競技者係まで提出する。用紙は、招集所に準備する。
- (6) 競技への出場をやむを得ず棄権する時は、招集完了時刻 10 分前までに、所定の用紙に記入し競技者係に提出する。用紙は招集所に用意する。
- (7) 四種競技者は、最初の種目含むすべての種目を招集所で点呼を受ける。

4 競技について

- (1) 予選におけるトラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の左側の番号で表す。トラック競技の決勝については、主催者側が公平に抽選をし、その結果を番組編成表示板に掲示する。
- (2) トラック競技において決勝進出者を決定するとき、同記録者があり、レーン数が不足する場合は、日本陸連の規則に準じて決定する。
- (3) レーンで行う競技種目で棄権者があった場合は、そのレーンをあける。
- (4) 短距離種目では、事故防止のため、フィニッシュ後も自分に割り当てられた走路（曲走路）を走る。
- (5) リレー競技においては、チームの出場者は同一のユニフォームを着用する。

- (6) リレー競技のマーカ―は主催者が用意したものを受け取り、1カ所のみ使用することができる。
- (7) 競技場内での跳躍、投てきの練習は、審判員の指示によって行う。
- (8) 三段跳においては、踏切板から砂場までの距離を10mとする。

5 競技用シューズについて

- (1) WA 承認リストにあるシューズを使用していることを前提に、招集所での計測を実施しない。ただし、審判長の権限により、靴底の測定を求められた場合は計測する。計測の内容としては、TR5.13.3(国内 TR5.2)にある厚さ等を確認する。

6 競技場への入退場について

- (1) 競技場への入場はすべて係員の誘導による。
※競技開始場所においても直前の点呼があるので勝手に行動しないこと。
- (2) トラック競技の出場者はフィニッシュライン到着後、係員の誘導によって退場する。
- (3) フィールド競技の出場者は、係員の指示に従って退場する。

7 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは指定の大きさのまま数字が明瞭に見えるように、ユニフォームの胸背部に確実につける。ただし、跳躍競技は胸または背のいずれかにつけるだけでよい。
- (2) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識を選手招集所で受け取り、ランニングパンツ右横やや後方に取り付ける。

8 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

- (1) 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方は、最後の1人になるまでは次のとおりとする。

走高跳	男	150(練習)	155	160	165	170	173	176	179	以後 3cmごと
	女	125(練習)	130	135	140	145	148	151	154	以後 3cmごと
四 種 走高跳	男	135(練習)	140	143	146	149	152	155	158	以後 3cmごと
	女	115(練習)	120	123	126	129	132	135	138	以後 3cmごと
棒 高	男	260(練習)	270	280	290	300	310	320	330	以後10cmごと
		360(練習)								
	女	180(練習) 280(練習)	200	210	220	230	240	250	260	以後10cmごと

- (2) 棒高跳の支柱移動は、口頭で競技役員に伝える。
- (3) 高さを競う競技開始の最初の高さは天候等により審判長と総務員で協議して変更することがある。

9 競技用具について

- (1) 競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。ただし、棒高跳用ポールは個人所有のポールを最終点呼時に検査を受け、合格したものに限り使用が認められる。
- (2) 練習用としても個人の用具を競技場に持ち込んではいならない。

10 表彰について

- (1) 各種目の個人の表彰は1～3位まで行う。入賞者は決勝終了後、入賞者控所（エントランスホール）で待機し、表彰係員の指示に従うこと。表彰は上半身ユニフォームを着用のこと。

11 応援横幕・のぼり旗、個人テントの設置について

- (1) 応援横幕・のぼり旗などは、サイドスタンドおよびバックスタンドに設置すること。最前列の手すり不可。
- (2) スタンド等の通路をさえぎる状態での設置はしないこと。
- (3) 設置については、ロープ等を使用すること。粘着テープ等の使用は禁止する。
- (4) 個人名の入った応援横幕・のぼり旗等は許可しない。
- (5) 本競技場内の個人テントの設置は、サイドスタンドおよびバックスタンドの中央通路より上、または他の観戦者に配慮した場所に設置すること。

12 抗議と上訴について

- (1) 競技中に起きた競技者の結果または行為に関する抗議は、当該競技者の監督により、その種目の結果が正式発表されてから 30 分以内(同一日に次のラウンドが行われる種目では 15 分以内)に、審判長に対して口頭でなされなければならない。(大型映像表示終了時刻を基準とする。)
- 抗議者は大会本部に申し出ること。[TR8.5(競技中の抗議は認めない)]

13 練習会場使用日程

	7 月 31 日 (金)	8 月 1 日 (土)	8 月 2 日 (日)
主競技場	13 : 30 ~ 19 : 00 (投擲練習不可)		
補助競技場	13 : 30 ~ 19 : 00	7 : 30 ~ 19 : 00	7 : 30 ~ 18 : 00

※ 審判員の指示に従い、全ての競技者は安全に留意すること。

(補助競技場・雨天競技場の使用について)

- ① 補助競技場の使用について (レーンの使用については以下の通りである。)
- ・ 1 ~ 2 レーンは、周回練習のみ使用可とする。ただし、1 レーンはトライアル、2 レーンはジョグ練習とする。(集団ジョグは不可)
 - ・ 3 ~ 4 レーンは、短距離、リレー練習を優先する。
 - ・ テントなどを設営しての独占的な使用をしない。
 - ・ 第 2 ゲート外にある砲丸投専用ピットでは投擲練習はできない。
- ② 雨天練習場の使用について。(雨天時など)
- ・ ピストルの使用は禁止する。
 - ・ シート等を敷いて独占的な使用をすることを絶対にしない。
(ウォーキング・ジョギングなどペースが著しく遅いウォーミングアップまたは、動きづくり程度の練習は行ってもよい。それ以外は補助競技場で行うこと。)
 - ・ 2 ~ 4 レーンは第 3 ゲートから第 2 ゲートへの同一方向走行とする。
 - ・ 1, 5 レーンを周回のみとし、逆走は絶対にしないこと。
 - ・ ハードルは使用できない。

14 その他

- (1) 応急処置を要する場合やその他健康上の問題が発生した場合は、正面スタンド下の医務室まで連絡すること。
- (2) 記録は種目終了後、大型映像で表示する。メインスタンド 2 階中央付近に記録の掲示は行わない。
リアルタイム記録速報(香川陸協中学部 HP)を参照のこと。
- (3) スタンド等で出たゴミについては必ず各自で持ち帰ること。
- (4) 撮影禁止エリアを設ける。(100m スタート付近の横と後方, 100m ゴール地点前方, 跳躍種目正面等)